

役員会議事録

平成17年2月2日(水)
10時15分から11時45分まで
役員会議室

出席者

議長 仙道富士郎(学長)
理事 沼澤 誠 鬼武一夫 遠藤 剛 田村幸男 松井良業
監事 本木正光 遠藤和男
列席者 総務部長 財務部長 学務部長 施設部長 総務課長 企画課長 財務課長

議事

1. 平成17年度の学長裁量定員と教員定員について

学長から、平成17年度の学長裁量定員は、各部局から申請があった事項について全学的観点から考慮し、資料1のとおり提案することとした旨説明があった。

次いで学長から、部局別の平成17年度教員定員は、人文学部、教育学部、医学部、工学部、農学部及び附属病院については、今年度の定員から各1名が減っていることのほかは変更がなく、全体として773人となる旨説明があった。

また学長から、本学の将来計画の検討に当たっては、毎年度の効率化係数による人件費の削減に対処するための教職員の在り方を含めた人事計画等を策定することが必要不可欠であり、早急に着手すべき課題であると認識しており、これら人事計画を含む本学の将来計画等を検討するための委員会として、将来計画特別委員会(仮称)を基本構想委員会の下に設置したい旨発言があり、了承された。

なお、本件については、学部長会議で説明することとなった。

2. 外国人留学生の収容定員上の取扱いについて

鬼武理事から、本件について、国費留学生以外には、その取扱いを定めた規定がなく、文部科学省へ問い合わせたが、各大学で取り決めて良いとのことであった旨説明の後、本学としては、教育委員会で審議することとしたい旨発言があり、了承された。

3. 最上地域への山形大学キャンパス機能誘致構想プロジェクトチームの設置について

学長から、本件については、最上地域から要望書が提出された旨説明しているが、本学として、最上地域の熱望に応え、双方での協議の場を早急に設定し、実現に向けて踏み出すため、資料2のとおり、プロジェクトチームを設置することとしたい旨発言があり、了承された。

なお、本件については、本日開催の学部長会議で報告することとなった。

4. 山大プロジェクトについて

学長から、本件のうち、平成17年度に実施する事業について、資料3に基づき説明があった。

なお、最上地域で行う県内移動オープンキャンパスと大蔵村で行う自然塾は、最上地域への山形大学キャンパス機能誘致構想プロジェクトの一環として行うこととしたい旨発言があった。

なお、本件については、本日開催の学部長会議で報告することとなった。

5. 外部資金獲得に関する対応の検討について

学長から、大学が獲得できる外部資金の種類を資料4に一例として掲げてみたが、獲得するには、いずれの区分においても早期から準備をしておく必要があるので、留意願いたい旨発言があった。

次いで遠藤理事から、海外先進教育研究実践支援プログラムの平成17年度における財政支援の取扱いについて、資料に基づき説明があり、本プログラムの対応は、外部資金プロジェクト戦略室会議で戦略性をもって行うこととしたい旨発言があり、了承された。

6. 平成16年度予算の執行計画について

財務課長から、本件について資料5に基づき委細説明があった。

次いで学長から、本件について提案があり、了承された。

なお、資料の中の金額の集計に誤謬があったため、訂正することとなった。

7. 職員録について

学長から、本件については、経費削減と個人情報保護法の施行等に伴い、平成17年度から冊子による配付はせずに、学内ホームページに掲載することとしたい旨提案があり、了承された。

8. その他

(1) 国立大学協会総合損害保険について

総務課から、本件のうち特に平成17年度の変更点等について報告があった。

なお、本件加入については、2月中旬に行われる保険会社からの説明を踏まえ、2月中旬に決定することとなった。

配付資料

資料1 平成17年度部局別教員定員表、平成17年度学長裁量定員

資料2 最上地域への山形大学キャンパス機能誘致構想プロジェクトチームの設置について(案)

資料3 山形大学活性化プロジェクト

資料4 外部資金獲得に関する対応の検討について

中期的な施策の方向性

資料5 平成16年度予算執行計画

資料 国立大学法人損害保険について